



明けましておめでとうございます！

3学期は8日（金）から始まりました。始業式は、体育館で一斉集合ではなく、感染予防対策として、校長室からのライブ配信で行いました。ICTを活用すると、各教室にて校長先生の話のリモートで見聞きすることができます。子どもたちは、画面に映る校長先生によく注目していました。

今後もこのようにICTを有効活用して子どもたちの教育活動に取り組んでいきたいと思っております。

今年も地域の皆様には本校の教育活動へのご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。



学校行事予定

2月16日（火）小中学部入学説明会 短縮 11:40 下校
17日（水） // 13:40 下校
22日（月）高等部入学者選考

※行事や授業予定は今後変更もあります。変更時は本校HPにてお知らせします。
いなみ野特別支援学校HP：<http://www.hyogo-c.ed.jp/~inamino-sn/>

支援のタネ

～発達について～

前回から発達をテーマに取り上げ、乳児期における発達について書いてきました。今回は前回に引き続き、乳児期の後半の発達について取り上げたいと思います。

生後7か月頃になると、機嫌のよい時等に「ナンナン…」「パパパパ」等の喃語が出始めます。この頃、まだ意味は成しません、11か月頃になると「マンマンマン」という喃語が例えば「おなかすいたよー」という意味を伴うものに変化していきます。9か月頃、抱っこをしてもらっている時にその大好きな大人の指さした先を見つめたり指さしたものを見つけたりすることができるようになり、11か月頃には自分から指さしをして発見したものを大人に伝えようとするようになります。この11か月頃の、喃語や指さしは次の幼児期の世界に飛躍するためのエネルギーが生まれる時といわれています。

前回の発達の話の中で、見えない世界への期待の力でつかまり立ちを取り上げましたが、もっと見えない世界への期待の力が物を介しても変化していきます。箱からティッシュを引っ張り出したり、引き出しを開けたり、靴から物を出したり入れたり…、この次々と中身を引っ張り出す行為は今後の探索活動に発展していく大事な遊びなのです。

参考文献：白石正久 「発達の扉」（かがわ出版）



12月、学習発表会に代わる活動を行いました！

今年度は学習発表会が中止になり、たくさんの人の前で舞台上立って発表する機会がなくなってしまいましたが、その代わりとして、児童生徒が達成感を感じられる場として、それぞれの学部で工夫をこらしたミニ発表会が行われました。

小学部

小学部は、普段のリズム遊びでの学習の成果を学年ごとに発表し合いました。後半はスペシャルゲストとして高等部3年生の生徒が登場！素敵な演技を披露して楽しませてくれました。例年とは違う形でしたが、学部間交流をすることができ、有意義な時間になりました。



中学部

中学部は、音楽発表会を行いました。1年生は3匹のやぎのながららどんとララララッセーラの合奏を、2年生は世界の音楽「アロハ・オラ！」を、3年生はサンタの衣装を着けてクリスマスソングメドレーを披露しました。



高等部

高等部は、学年毎に発表会を行いました。特に3年生にとっては学校生活最後の発表会。多目的室で縮小しての開催になりましたが、この日のために練習してきた合奏やダンスを発表しました。保護者の皆様にも見ていただきたいと、希望者のみ参観に来ていただきました。生徒にとっても保護者の皆様にとってもよい思い出になったことと思います。



ライオンズクラブさんからのクリスマスプレゼント

24日の終業式後、ライオンズクラブさんからクッキーのプレゼントが届きました。児童生徒は思いもかけないサンタさんの登場に大喜びでした。ありがとうございました！

